

新年度を迎えて

スポーツ推進委員協議会 会長 綿谷 匡哲



今期、板橋区スポーツ推進委員協議会の会長に就任致しました。よろしくお願ひ致します。

スポーツ推進委員は区非常勤職員として地域と行政のパイプ役となり、生涯スポーツ推進を図ると共に青少年健全育成活動にも積極的に携わります。「東京で一番住みたくなるまち」を実現するために策定された「板橋区スポーツ推進ビジョン2025」に掲げられた、「区民のスポーツ大会への参加促進や日常生活でのスポーツの習慣化、スポーツニーズの把握、様々なスポーツの普及、スポーツを身近に感じて頂ける様なイベントの開催などにより、区民の皆様のスポーツ実施率の増加や健康づくりに貢献する役割を担います。」の目標に向けて、子どもからシニア、障がい者の方まで全ての人に幅広く親しんで頂ける様に取り組んでいきます。区民の皆様身近なスポーツコーナーダイネーターとして活躍出来ます様に委員全員が一丸となって尽力して参りますので、今後も皆様のご支援とご協力を賜ります様に心からお願ひ申し上げます。



2018板橋Cityマラソン

板橋Cityマラソンコース(公財)日本陸上競技連盟公認



絶好のコンディションの中、レースは進んで行きました。

第21回目の今大会は、ゲストにオリンピックで世界陸上選手権女子マラソンの銀メダリストである土佐礼子さんと、箱根駅伝6区の区間記録を持つ秋山清仁さんをお迎えし、3月18日(日)に開催されました。

本大会は制限時間が長く、完走率も高いため、毎年多くのランナーが集う場となっています。今年約1万4千人がフルマラソンに参加しました。またフルマラソンの他、5km、ジュニア3km、キッズラン、車いすの各種目にも多くの方が参加しました。マラソンのスタート前にメインステージでは、ふるさといたばし体操でウォーミングアップを行いました。その後、スタート地点で開会式が行われ、午前9時にフルマラソンのスタートの号砲が鳴らされました。気温はそれほど上がらず、また風もほとんど無い

Topics

スポ推と地域活動

スポーツ推進委員は、スポーツを通じて区民の皆さんが毎日健康で元気に過ごせるよう、ウォークラリー大会やハイキングなどのイベントを開催したり、ふるさといたばし体操の普及活動を行ったりと、年間を通じて様々な活動をしています。

しかし、スポ推の活動はこれだけではありません。板橋区全体の活動以外に、各地区の青少年健全育成活動にも積極的に関わっています。小学生を対象にした夏の野外キャンプ、町会が中心となっていく地区運動会、そして成人式やソフトボール大会、ドッジボール大会など、数多くの活動に参加、協力しています。

色々な行事があるため、忙しいと感じることもありますが、活動を通じて多くの人と交流ができ、人間の幅が広がる?ような気がします。これからも頑張ります!

その結果、一般男子の部では大会新記録が誕生し、会場を大きく沸かせました。会場全体では協賛企業・団体によるブース・飲食店や、土佐礼子さんによるトークショーなどが行われ、競技を応援する人も楽しめるイベントでした。今後2020年に向けて、ますます盛り上がりつつあることを期待します。



平成30~31年度スポーツ推進委員協議会 体制図

Table with 2 columns: Position and Name. Includes roles like Chairman (綿谷 匡哲), Vice Chairman (杉本 賢一), Treasurer (飯島 実千代), and various department heads.

区民文化部 スポーツ振興課

課長 金子 和也



スポーツ振興課長の金子と申します。区では、「板橋区スポーツ推進ビジョン2025」を策定し、「区民の誰もが楽しめるスポーツ環境の整備」と「スポーツによる地域の活性化とにぎわいの創出」を基本目標に掲げています。このビジョンをもとに、「する・観る・支える」の3つの視点を定め、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け区民の皆様がスポーツを様々な形で楽しみながら、健康で心豊かに暮らし、感動とにぎわいのあるスポーツのまちとなるように全力で取り組んでまいります。

高齢者スポーツ大学

5月22日(火)

東板橋体育館において、高齢者スポーツ大学の講習会としてボッチャ体験を実施しました。「ボッチャ」はリオパラリンピック競技大会で日本チームが銀メダルに輝き、東京2020パラリンピック競技大会では金メダルを目指している種目です。講習会は準備運動として、ふるさといたばし体操から始まりました。次に全員が1つのコートに集合してスポーツ推進委員からルール説明と諸注意を受けました。体験は3コートに2チームずつ55名の参加者が分かれ、ルールは頭より体で覚えるのが一番」と、早速一斉に投球練習を行い、続いてゲームを開始しました。

参加者は勝ち負けの決め方を理解すると「ボッチャ」の狙い目や投球する位置など工夫をしてゲームに興じていました。休憩中「孫と楽しめるよ」「球の中身は?」「ボッチャって何語?」などのご意見や質問をいただき講習会を通じて「ボッチャ」を楽しんでいる様子でした。



後半はチームの入替えをして対戦しました。ゲーム終了後「審判も体験したい」と、自らゲームを進める方もいらつしやいました。最後にチーム総得点による1位と2位を発表し、参加者の笑顔と「お疲れ様でした」の爽やかな挨拶で閉会しました。

総合型地域スポーツクラブ



NPO法人 志村スポーツクラブ・プリムラ

NPO法人 志村スポーツクラブ・プリムラ 理事長 浅見 宗弘

皆さん、3x3 (スリーバィー) ってご存知ですか。そう東京2020オリンピック競技大会で正式種目となったスポーツです。ルールは、一つのバスケットゴールを2チームで競う競技で、以前は3on3と呼ばれていたものです。プリムラでも「やってみたい」という声小学生から上がり、昨年準備を進め今年の5月に無料体験会を実施し、6月から正式に発足しました。当面は小学生を対象に都立志村学園で毎週水曜日の19時から2時間の予定ですが、反響によっては回数を増やす検討もしています。

新たなサークル活動をスタートする時に課題となるのが利用できる施設が少ないという問題です。現在は教育委員会、スポーツ振興課として各学校のご理解を得て使わせていただいておりますが、やはり限度があります。このような悩みは日本中の総合型地域スポーツクラブでも同様に抱えており、解決策を模索しているところです。プリムラも皆様の後押しを受けながら、一つ一つ問題を解決しながら進めているところです。

